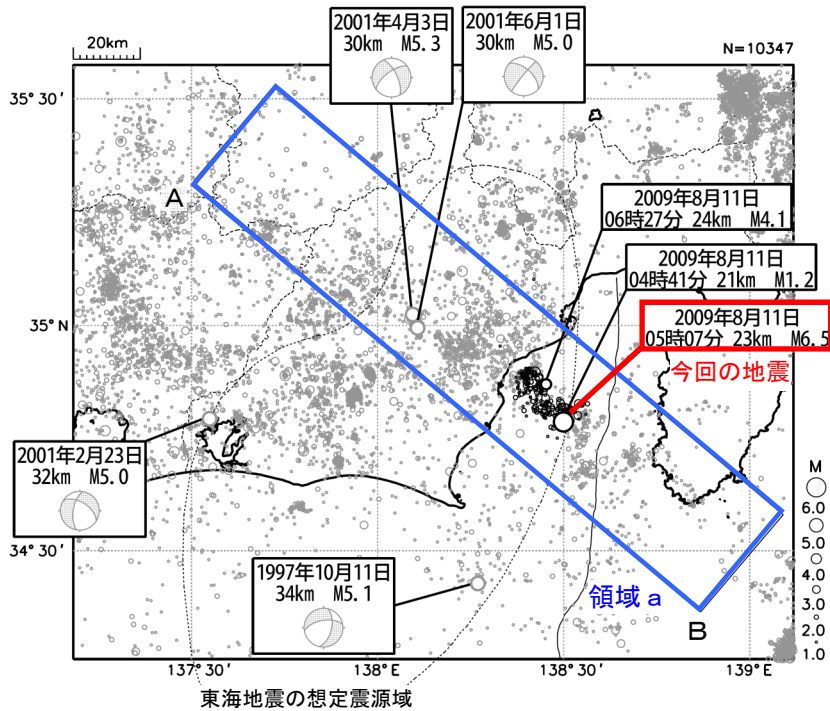


2009 年 8 月 11 日駿河湾の地震活動の評価

- 8 月 11 日 05 時 07 分頃に駿河湾の深さ約 25km でマグニチュード(M)6.5(暫定)の地震が発生した。この地震により静岡県で最大震度 6 弱を観測し、被害を伴った。また、御前崎市で 0.4m など、静岡県の太平洋沿岸で津波を観測した。
- 発震機構は北北東－南南西方向に圧力軸を持つ型であった。発震機構、余震分布及び震源の深さからフィリピン海プレート内部で発生した地震と考えられる。
- 地震活動は本震－余震型で推移している。8 月 11 日 18 時 30 分までの最大の余震は 11 日 18 時 09 分に発生した M4.3(速報値)の地震である。
- GPS 観測の結果によると、本震の発生に伴って、焼津 A 観測点(静岡県)が約 2 cm 西に移動するなど震源付近で地殻変動が観測されている。
- 今回の地震は、想定東海地震の想定震源域の近くで発生しているが、フィリピン海プレート内で発生した地震であり、想定東海地震とは異なるメカニズムで発生した地震である。なお、気象庁によると、想定東海地震に結びつくような地殻変動は認められていない。

8月11日 駿河湾の地震 M6.5

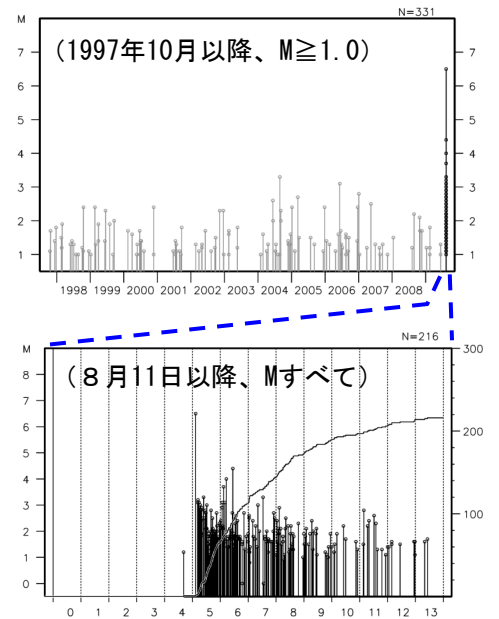
震央分布図（1997年10月1日～2009年8月11日14時、
深さ90km以浅、 $M \geq 1.0$ ）
2009年8月11日以降の地震を濃く表示



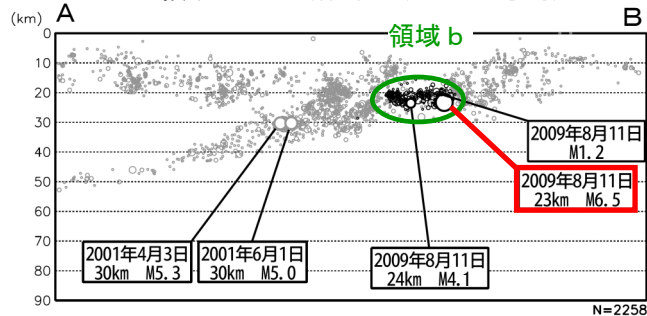
2009年8月11日05時07分に駿河湾の深さ23kmでM6.5の地震（最大震度6弱）が発生した。この地震により静岡県を中心に負傷者68名などの被害が生じている（11日12時15分現在、総務省消防庁による）。発震機構は北北東－南南西方向に圧力軸を持つ型である。余震活動は減衰しつつある（18時30分までの最大は11日18時09分のM4.3（速報値）の地震）。今回の地震は、震源の深さ、発震機構解及び余震分布からみて、沈み込むフィリピン海プレートの内部で発生した地震と考えられる。

1997年10月以降、今回の震源付近（領域b）の地震活動は時々M2～3の地震が発生する程度で、周辺の地震活動に比べて比較的低調であった。

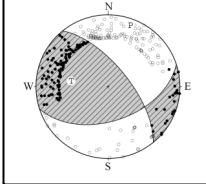
領域b内の地震活動経過図、回数積算図



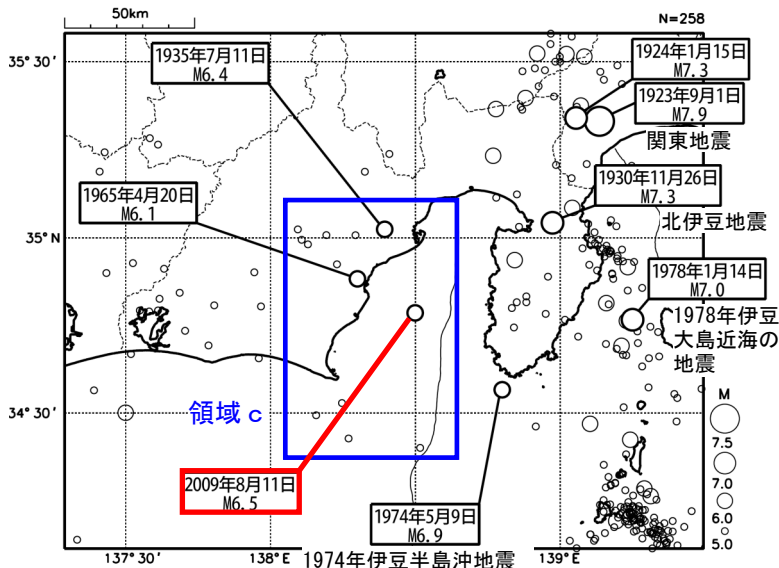
領域a内の断面図（A－B方向）



今回の地震の
初動発震機構解
(暫定)

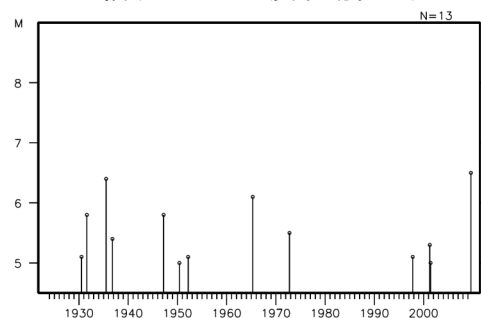


震央分布図（1923年8月以降、深さ60km以浅、 $M \geq 5.0$ ）



1923年8月以降、今回の震央周辺（領域c）では、北西側の静岡県内陸部で、1935年と1965年に静岡地震が発生している。

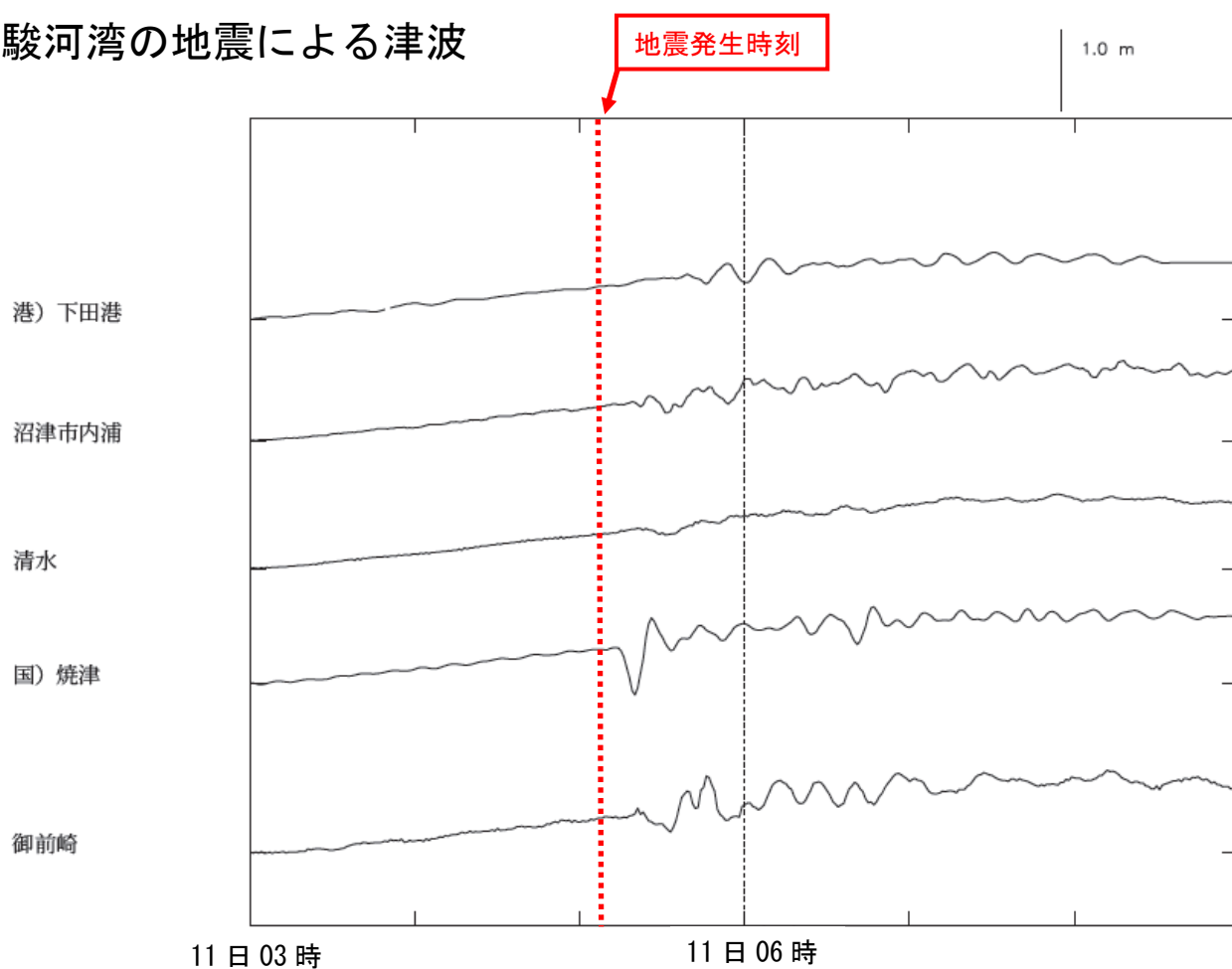
領域c内の地震活動経過図



※ 8月11日の震源データは一部未処理の期間を含む。

気象庁作成

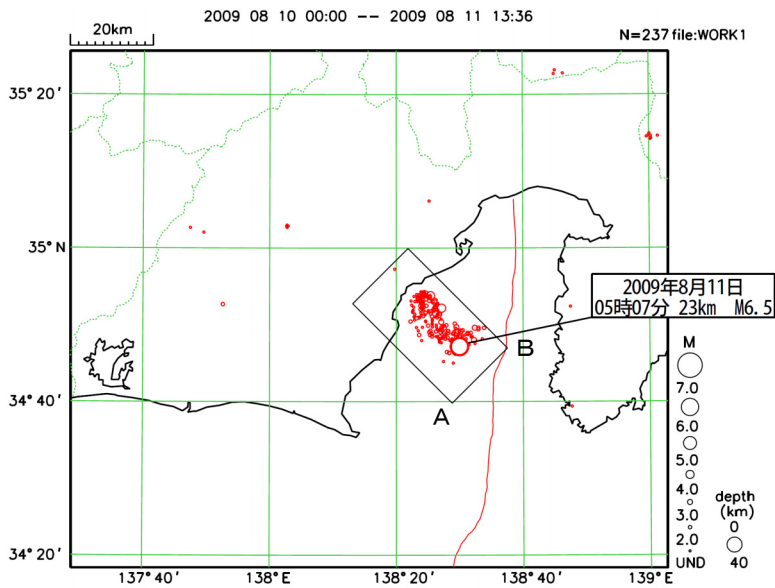
駿河湾の地震による津波



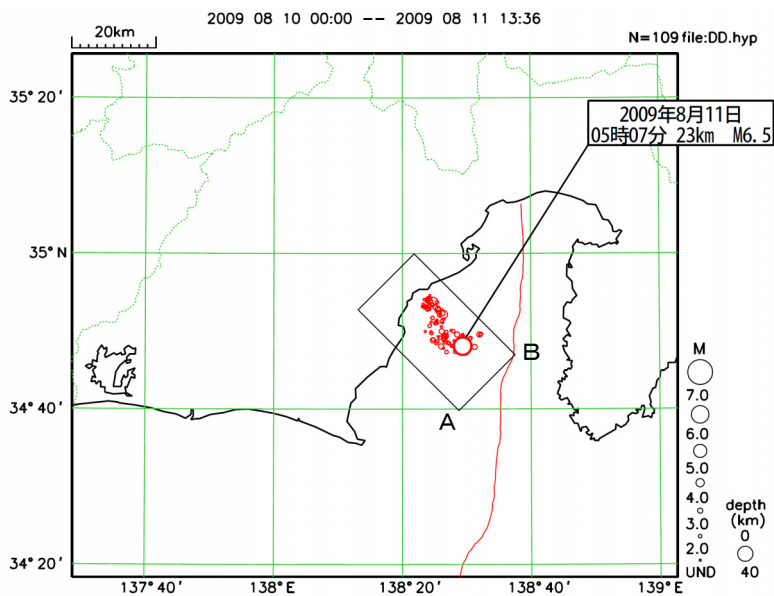
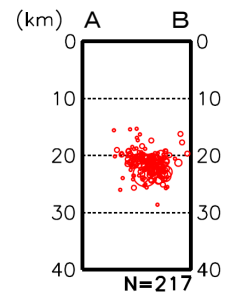
※ 港) は港湾局、国) は国土地理院の観測点であることを示す。

震源再計算による、震源分布

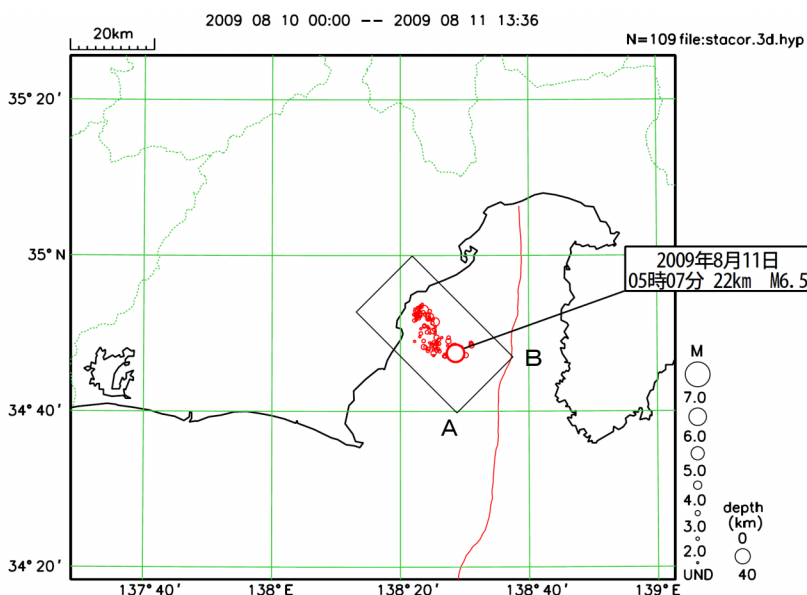
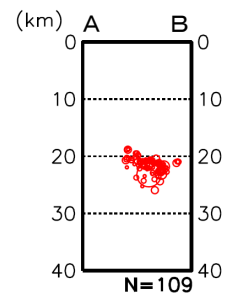
DD法や三次元速度構造を用いた震源で、北東傾斜の余震分布が見られている。



一元化震源

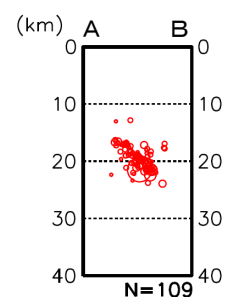


DD法



三次元速度構造

* 勝間田(2006)による



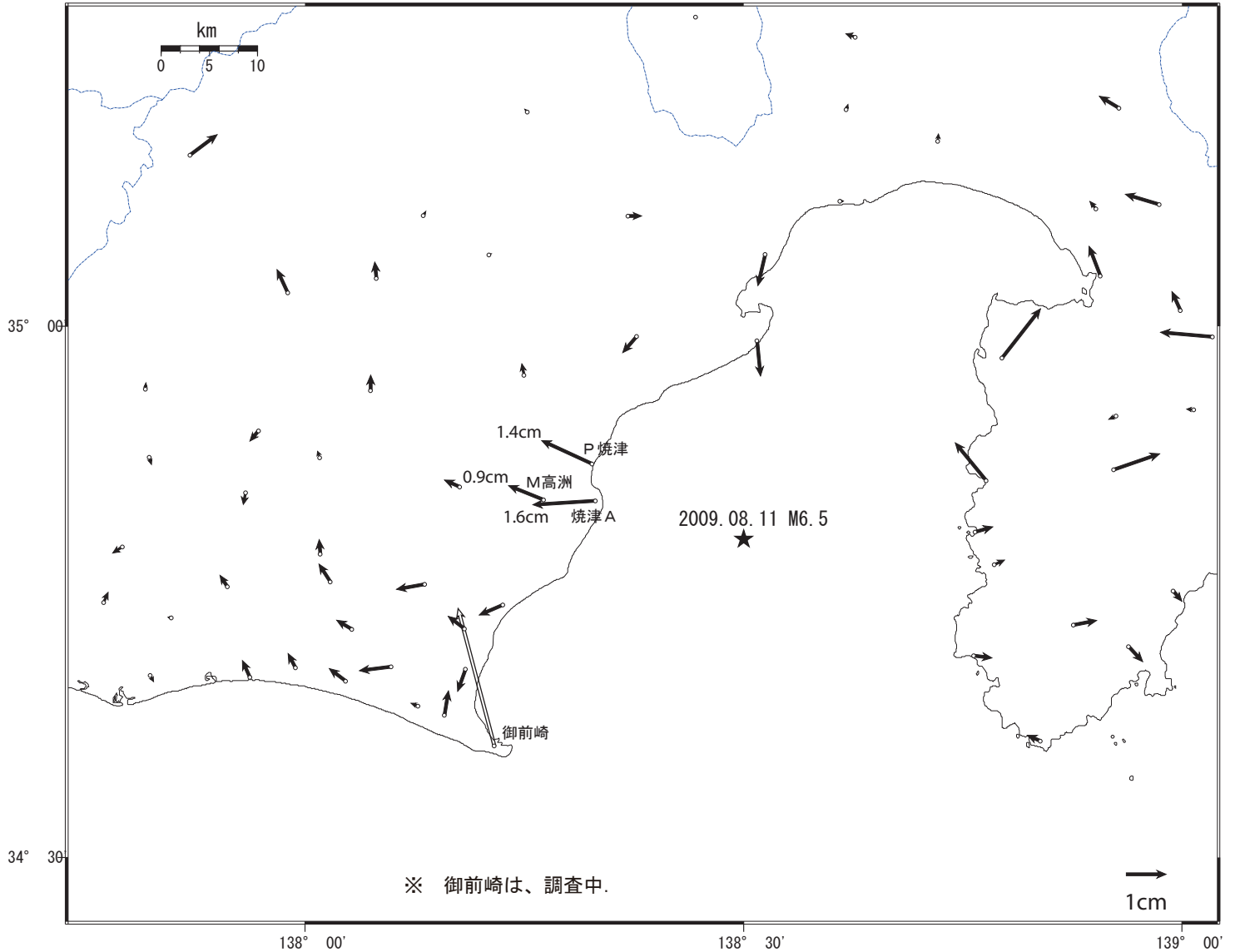
気象庁作成

駿河湾の地震(8月11日, M6.5)に伴う地殻変動

暫定

変動ベクトル図(水平)

基準期間 : 2009/08/05 - 2009/08/09 [R3:速報解]
比較期間 : 2009/08/11 09:00 [Q3:迅速解]

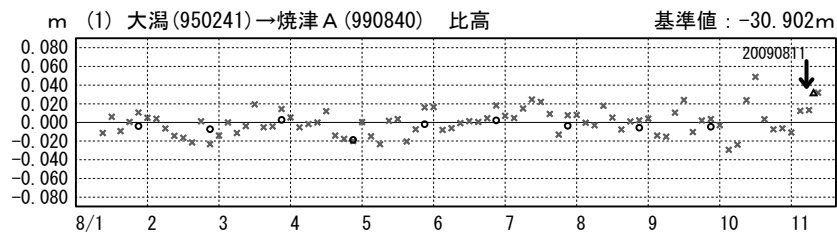
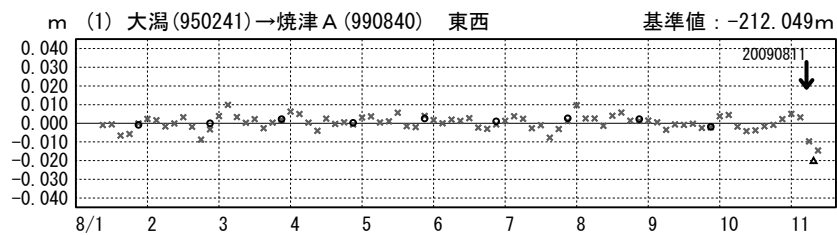


[基準 : R 3 速報解 比較 : Q 3 迅速解]

☆固定局 : 大湊 (新潟県)
国土地理院

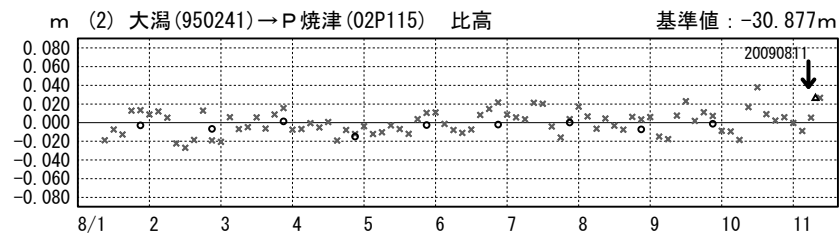
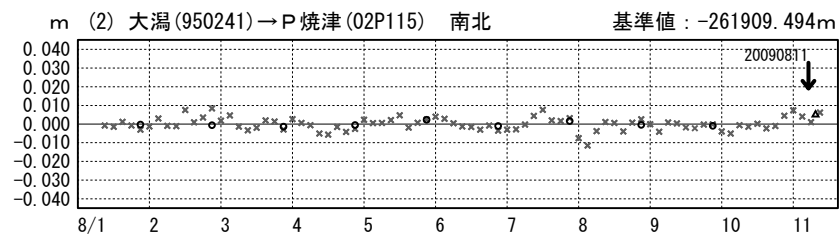
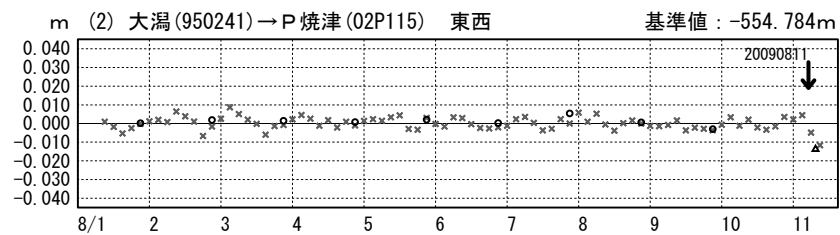
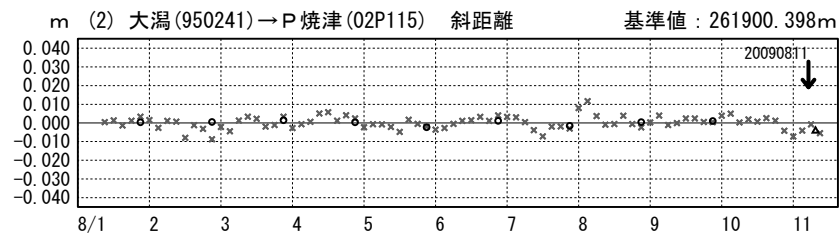
成分変化グラフ

期間：2009/08/01-2009/08/11 JST



成分変化グラフ

期間：2009/08/01-2009/08/11 JST



×---[Q3:迅速解] Δ---[S3:S 3 解] ○---[R3:速報解]

国土地理院